

緩和ケア病棟入院時 ESAS-r-J の呼吸困難スコアと その関連要因の探索

研究の概要

息苦しさは「呼吸時に感じる不快な感覚」と定義される主観的な症状で、がん患者さんの多くの方が体験されている症状です。なぜ、息苦しさが発生するのかは明らかになっていませんが、身体症状や精神症状、社会的な背景や環境、文化的背景が相互に作用すると考えられています。そのため、息苦しさを効果的に和らげるためには、患者さんの置かれている状況を全体的にとらえ、いろいろな視点から支援することが重要だと言われています。

実際に、過去に行われた研究では、息苦しさと不安などの精神症状に関連があると報告されています。そのため、緩和ケア病棟の看護師は、タッチングと呼ばれる支援や、側に寄り添う支援を意識的に多く取り入れて行っているようです。一方で、不安などの精神的ストレス以外の症状については、息苦しさとの関連は明らかになっていません。もし、息苦しさに関連のある症状が明らかになれば、その症状を和らげる支援を受けることで、患者さんが体験している息苦しさも和らぐ可能性があるのではないかと考えました。

研究の目的と意義

本研究では、息苦しさに関連のある症状などを明らかにすることを目的としています。息苦しさに関連のある症状が明らかになれば、息苦しさを和らげる支援の幅がひろがることが期待されると考えています。そのため、私たちはこの研究を行う意義は大きいと考えています。

研究の対象

2014年9月から2015年2月までの期間に、国立がん研究センター東病院の緩和ケア病棟に入院された方々の診療録を対象とします。

研究の方法

本研究は、国立がん研究センター東病院の緩和ケア病棟における診療情報のデータを、院内で収集・解析する形式で行われます。収集するデータは、患者さんの年齢、性別、入院時に記載していただいている ESAS-r-J（エドモントン症状評価システム改訂版日本語版：痛み・だるさ・眠気・吐き気・食欲不振・息苦しさ・気分の落ち込み・不安・全体的な調子について、今感じている程度を「0：なし」～「10：最もひどい」を用いて尋ねる質問紙です）などです。これらのデータを、息苦しさの程度と比較検討していきたいと考えています。

個人情報保護に関する配慮

閲覧する診療録には個人情報が含まれますが、患者さん個人が特定されない方法で情報を収集します。対象となる患者さんの識別は本研究専用 to 別途割り振られた研究番号を使って管理しますので、個人情報が院外に出ることはありません。患者さんやご家族などからのご希望があれば、その方の診療録は研究に利用しないようにしますので、いつでも次の連絡先まで申し出てください。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

〒 277-8577 千葉県柏市柏の葉 6-5-1

国立研究開発法人国立がん研究センター東病院 看護部 角甲 純

FAX 04-7131-4724/TEL : 04-7133-1111